

アレルギー性結膜炎

アレルギーを起こす原因物質（アレルゲン）による結膜炎を「アレルギー性結膜炎」といいます。それには、特定の季節にのみ発症し、アレルゲンが、ほとんど花粉である季節性アレルギー性結膜炎と、室内のほこり、ダニ、カビ、ペットの毛やフケ等のように、常に身のまわりにあるアレルゲンにより起こる、通年性アレルギー性結膜炎とあります。

症状として、目やまぶたがかゆい、白目が充血する、目やにが出る、涙が出る、目がゴロゴロする、まぶたがはれたりします。また、くしゃみ、鼻づまり、鼻汁が出るアレルギー性鼻炎の症状をともなう場合もあります。

予防法は花粉の飛散時期は外出をひかえたり、外出時にはマスクや眼鏡を使用する、洗濯物は花粉をよく払ってから取り込む、帰宅後に洗眼、うがいをする。ダニ対策として、床は板張りが良く、掃除はこまめに、寝具を度々洗濯し、日光に干す、防ダニ加工した寝具を使用する。カビに対しては、湿度を上げないように、通風を良くする、防湿剤、防カビ剤を使用する。また、ペットを室内で飼うのを避けた方が無難でしょう。

治療法は先ず眼科医の診察を受けて下さい。最近、多くの抗アレルギー点眼薬が開発されていますが、花粉症には、花粉が飛散する2週間位前から点眼すると効果的です。症状がおさまったと思いい点眼を中止せずに、医師の指示に従い、正しく点眼して下さい。

平成11年3月
咲山 旭